

大阪狭山市地球温暖化対策実行計画 (事務事業編)

環境活動レポート 2022

取組期間 令和4年4月～令和5年3月



大阪狭山市
OSAKASAYAMA

目 次

大阪狭山市での主な取組み	1
環境方針	3
1. 組織の概要	4
2. 大阪狭山市地球温暖化対策実行計画庁内実施体制	9
3. 大阪狭山市地球温暖化対策実行計画と行政計画、条例等との関連	10
4. 環境目標	11
5. 運用期間の取組結果と評価（令和4年度実績）	13
6. 環境関連法規の遵守と訴訟の有無	18
7. エコアクション2.1の取組みと今後について	18
8. 全体評価	19
資料編	20
エコ川柳コンテスト入選作品	21
施設別温室効果ガス排出原単位量一覧表（固定排出係数）	22
部の環境運営方針カード（令和4年度）	23
令和4年度環境活動計画書（各グループごとの施策別環境活動の内容）	30



令和4年度

大阪狭山市での主な取組み

地域での
取組み

地域における様々な主体が創意工夫により取組みを実施



まちづくり円卓会議では

まちづくり円卓会議とは、「地域のことは地域で考える」を実践するため、中学校区を単位として、自治会やNPO、市民活動団体や事業者などが自主的に集まり、まちづくりについて話し合う会議をいいます。

各円卓会議では、創意工夫により、「花いっぱい運動」、「河川のクリーンアップ」、「地域内清掃活動」など環境を守る様々な取組みを実施しています。



狭山池クリーンアクション

市のシンボル狭山池の環境を守るため、狭山池まつり実行委員会主催で毎月1回清掃活動などを実施しています。

再生可能
エネルギー
の利活用

住宅用再生可能エネルギー等設備導入費への補助

再生可能エネルギーの利活用の促進を図るため、家庭用燃料電池コージェネレーションシステム、家庭用リチウムイオン蓄電池システムを設置する市民に対して一部を補助しました。

補助件数 58件 補助金額の合計 2,900,000円

区分

<家庭用燃料電池コージェネレーションシステム>

41件



<家庭用リチウムイオン蓄電池システム>

17件 (総容量 153.27 kWh)



エコ川柳コンテスト エコ川柳コンテスト入選作品については、資料編を参照してください。

環境の大切さを再認識していただくきっかけづくりとして、エコ川柳コンテストを実施しました。

応募総数：143点 入選作品10点

エコフェスタおおさかさやま

地球温暖化対策を市民の皆さんと共に学び、考えるための啓発事業として、大阪狭山市産業まつり内にて「エコフェスタおおさかさやま」を実施しました。

環境リサイクルフェア

環境への負荷の少ない循環型社会の形成をめざして、ごみの減量化・資源リサイクルの推進など、市民の環境意識の高揚を図ることを目的に、市民団体や事業者の皆さんとともに毎年、開催している「環境・リサイクルフェア」を実施しました。

その他啓発活動

市役所内では全職員に対し、庁内情報システムによる掲示板を利用し、毎月エコ目標を定め、省エネ行動を推進しました。

環境への取組み

○エコドライブ啓発事業

おおさかスマートエネルギーセンター協力

会場：エコフェスタおおさかさやま（令和4年11月19日）



○エコ診断

会場：エコフェスタおおさかさやま（令和4年11月19日）

協力者：大阪府地球温暖化防止活動推進センター
（一般財団法人大阪府みどり公社）



○環境啓発冊子「わたしたちのごみ」

環境教育の一環として、子どもたちが環境への理解を深め、責任を持って環境を守るための行動がとれるよう、市内各小学校の4年生に環境啓発冊子を配布しました。



○イニシアティブ・プログラムの実施

共催：エコアクション2.1地域事務局大阪（令和4年10月28日）

○大阪狭山市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）

内部環境監査風景（令和4年10月19日）



環境方針

基本理念

大阪狭山市は、現存する日本最古のため池「狭山池」を市の中心に抱く、水と緑豊かな田園都市として発展してきました。「狭山池」は、『古事記』や『日本書紀』にもその名を記すほか、平成27年3月には国の史跡に指定されるなど、歴史的・学術的価値の高い遺産であるとともに、市のシンボルとして、古くから地域における憩いの場として親しまれ、身近な存在として今も地域の人々に愛されています。



これまで先人たちが守り続けてきた「狭山池」をはじめとする水と緑豊かな環境を、さらに次世代に引き継いでいくことが、今、この恵みを享受している私たちの責務となります。

地球温暖化に代表される地球規模での環境問題が一層深刻化するなか、まずは、地域における取組みを着実に進めていくことが重要であるとの視点に立ち、市自らが率先垂範し、地球温暖化の原因である温室効果ガスの排出量削減をはじめとした環境への負荷の低減に努めるとともに、持続可能な社会の構築に向けて、市民の皆さまや地域の事業者の皆さまと手を携えて、環境に配慮したまちづくりに取り組みます。

基本方針

電力や化石燃料の使用抑制に努め、二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。

廃棄物の削減に向けて、3R（Reduce = 廃棄物の発生抑制、Reuse = 再使用、Recycle = 再資源化）に取り組みます。

プラスチックごみゼロ宣言に基づき、プラスチックごみの削減に取り組みます。

水資源の使用抑制に努めます。

グリーン購入を推進します。

環境配慮の視点に立った施策・事業を推進します。

環境関連法規等を遵守し、環境の保全・改善に努めます。

環境に対する理解を深めるため、環境教育の充実に努めます。

市民及び事業者の皆さまとともに、環境に配慮したまちづくりを推進します。

グリーンリカバリー（緑の復興）を踏まえたコロナ禍からの地域経済の回復を推進します。

1 . 組織の概要

市の概要

大阪府の南部に位置する大阪狭山市は、東は富田林市に、西、北は堺市、南は河内長野市に隣接しています。地形は東の羽曳野丘陵、西の陶器山山系にはさまれ南北に細長く、市の中央部には現存する日本最古の人工のため池である7世紀初めに築造された狭山池が水をたたえ、狭山藩北条氏活躍の歴史とともに、河内南部地域の要地として知られてきました。



組織概要

代表者 大阪狭山市長 古川 照人
環境管理総括責任者 大阪狭山市副市長 田中 斉
事業活動 大阪狭山市で実施している事務・事業
事業の規模 総職員数967人¹（うち指定管理者制度等に係る事業者職員112人）
大阪狭山市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）

対象施設職員数621人

¹ 令和4年4月1日現在。嘱託職員等、小・中学校の教職員を含みます。

予 算 令和4年度一般会計当初予算額 21,321,801 千円
公共施設

市役所本庁舎



延床面積 6,711 m²
所在地 狭山1丁目
2384番地の1

保健センター



延床面積 1,460 m²
所在地 岩室1丁目97番地の3

コミュニティセンター (ニュータウン連絡所を含む)



延床面積 3,676 m²
所在地 大野台2丁目1番5号

老人福祉センター (さやま荘)



延床面積 1,739 m²
所在地 今熊1丁目80番地

心身障害者福祉センター 及び母子・父子福祉センター (さつき荘)

(障害者地域活動支援センターを含む。)



延床面積 1,157 m²
所在地 今熊1丁目85番地

総合体育館



延床面積 4,970 m²
所在地 池之原4丁目248番地

文化会館 (SAYAKAホール)



延床面積 13,618 m²
所在地 狭山1丁目
875番地の1

学校給食センター



延床面積 2,074 m²
所在地 今熊2丁目
1748番地の1

池尻体育館



延床面積 974 m²
所在地 池尻中3丁目
639番地の11

ふれあいスポーツ広場



延床面積 1,271 m²
所在地 茱萸木 4 丁目
88 番地の 315

公民館



延床面積 2,621 m²
所在地 今熊 1 丁目 106 番地

図書館



延床面積 1,401 m²
所在地 今熊 1 丁目 106 番地

東野幼稚園



延床面積 1,371 m²
所在地 東野中 2 丁目 22 番地

東幼稚園



延床面積 2,306 m²
所在地 狭山 3 丁目
2555 番地の 1

半田幼稚園



延床面積 1,524 m²
所在地 半田 2 丁目 269 番地

子育て支援・ 世代間交流センター (UP つば)



延床面積 1,870 m²
所在地 狭山 4 丁目
2303 番地の 2

こども園 (0～3 歳児施設)



延床面積 1,039 m²
所在地 西山台 6 丁目 19 番 5 号

こども園 (4～5 歳児施設)



延床面積 2,510 m²
所在地 西山台 6 丁目 19 番 12 号

東小学校



延床面積 6,615 m²
所在地 狭山 3 丁目
2497 番地の 1

西小学校



延床面積 4,779 m²
所在地 今熊 1 丁目 22 番地

南第一小学校



延床面積 5,862 m²
所在地 西山台 3 丁目 2 番 1 号

南第二小学校



延床面積 6,326 m²
所在地 大野台3丁目23番1号

南第三小学校



延床面積 5,575 m²
所在地 西山台6丁目19番7号

北小学校



延床面積 4,996 m²
所在地 池尻北2丁目20番7号

第七小学校



延床面積 5,249 m²
所在地 東茱萸木2丁目865番地

狭山中学校



延床面積 5,910 m²
所在地 狭山4丁目
2272番地の2

南中学校



延床面積 7,634 m²
所在地 大野台3丁目2番1号

第三中学校



延床面積 7,475 m²
所在地 茱萸木2丁目397番地

子育て支援センター (ぽっぽえん)



延床面積 682 m²
所在地 西山台3丁目2番1号

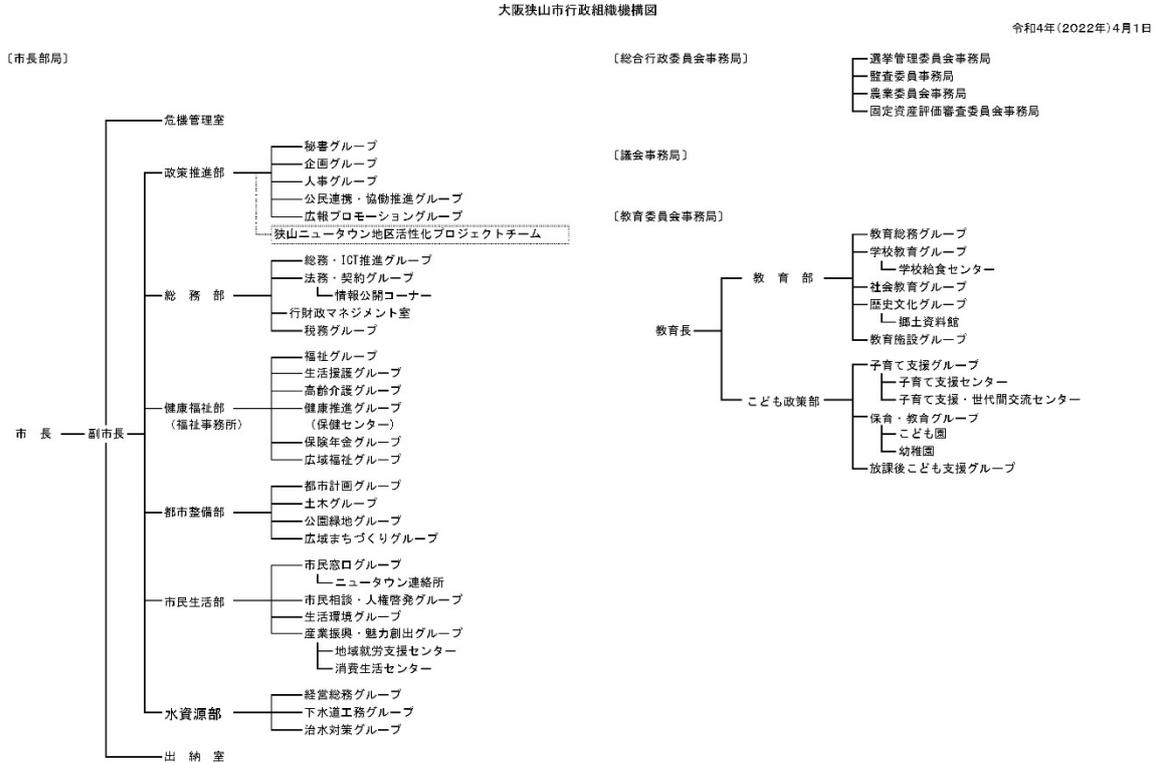
社会教育センター



延床面積 1,082 m²
所在地 茱萸木2丁目
306番地の4

2 . 大阪狭山市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）庁内実施体制

行政組織機構図（令和4年4月1日現在）



管理統括組織

代表者
(市長)

環境方針の制定
大阪狭山市地球温暖化対策実行計画の実施及び運用に必要な諸資源の用意
システム全体の評価と見直し

環境管理総括責任者
(副市長)

大阪狭山市地球温暖化対策実行計画の総責任者 ○各部署へ運用を指示
大阪狭山市地球温暖化対策実行計画の構築・実施・管理
書類の精査・承認

内部環境監査員 (システムの運用・活動状況についての監査の実施)

環境管理責任者
(各部・局・室)

所管(部・局・室等)における環境責任者に対する取組みの指示
市全体の環境目標及び環境活動計画についての審議
環境活動レポート及びシステムの活動状況についての審議

事務局(生活環境グループ)

大阪狭山市地球温暖化対策実行計画に関する情報提供
大阪狭山市地球温暖化対策実行計画関連書類の原案の作成、保管
全般における環境への負荷の把握
全般における環境への取組みの把握
システム運用のための教育・訓練の実施

活動組織

環境責任者
(各グループ課長等)

所管グループの職員に対して取組みを徹底
所管事務事業におけるシステム運用上の取組事項の決定
所管事務事業に関する環境関連法規の整理、その遵守状況の把握
所管事務事業における環境に関する苦情・要望・問題について適切な対応
(記録)
システムの運用状況を確認するための内部環境監査への協力

環境主任(各グループ1名推薦)

大阪狭山市地球温暖化対策実行計画の運用における各グループ
のリーダー
所管事務事業における環境への負荷データの把握
所管グループにおける環境への取組状況の把握

全職員

3 . 大阪狭山市地球温暖化対策実行計画と行政計画、条例等との関連

取組の範囲	大阪狭山市の行政計画、条例等	環 境 方 針	具体的な取組み
自ら管理できる取組み	大阪狭山市地球温暖化対策実行計画（事務事業編） （旧）大阪狭山市地球温暖化対策実行計画（エコプランおおさかさやま） エネルギーの使用の合理化等に関する法律に基づく特定事業者における中長期計画	電力や化石燃料の使用抑制による二酸化炭素排出量の削減 廃棄物の削減に向けた3 R（Reduce = 廃棄物の発生抑制、Reuse = 再使用、Recycle = 再資源化）の取組み 水資源の使用抑制 グリーン購入の推進 環境関連法規等の遵守と環境の保全・改善 環境に対する理解を深めるための環境教育の充実	エコオフィス活動の実践 温室効果ガスの削減 職員への環境教育の計画的な実施 グリーン購入の推進 インターネットを活用した申請書等の情報提供 下水道事業の推進等
地域への働きかけにより地域の環境目標、指標の達成をめざす取組み	第五次大阪狭山市総合計画（自然と調和した活力のある快適なまちづくり） 大阪狭山市地球温暖化対策ガイドライン 大阪狭山市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画 大阪狭山市分別収集計画 大阪狭山市環境保全に関する基本条例 大阪狭山市廃棄物の減量化及び適正処理等に関する条例 大阪狭山市ごみ等のポイ捨て等の防止に関する条例 大阪狭山市廃棄物減量等推進員設置要綱 大阪狭山市ごみ減量対策推進会議設置要綱 大阪狭山市あき地の適正管理に関する指導要綱 大阪狭山市違反簡易屋外広告物撤去活動員に関する要綱	市民及び事業者の皆さまとともに、環境に配慮したまちづくりを推進	ごみ減量化・資源リサイクル推進事業 廃棄物減量等推進員によるごみ減量対策推進会議でのごみ減量・リサイクル推進の啓発 エコフェスタおおさかさやまの実施 住宅用再生可能エネルギー等設備導入費助成 生ごみ堆肥化容器等の貸与 狭山池まつりを核とした市民環境活動への支援 環境をテーマにした出前講座の実施等
地域での環境と経済の両立をめざす取組み	第五次大阪狭山市総合計画（自然と調和した活力のある快適なまちづくり） 大阪狭山市地球温暖化対策ガイドライン 大阪狭山市有価物回収奨励金交付要綱	環境配慮の視点に立った施策・事業の推進	公共事業の実施における環境配慮 環境・リサイクルフェアの実施 エコフェスタおおさかさやまの実施 グリーン購入の推進 有価物（古紙等）回収奨励金の交付 エコアクション 21 自治体イニシアティブプログラムの活用 契約時における環境に配慮した業者を優先することの検討

省エネ化が進んだことにより、平成 27 年 6 月にエネルギーの使用の合理化等に関する法律に基づく特定事業者の指定の取消しを受けています。

4 . 環境目標

大阪狭山市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の取組みを推進するにあたり、全施設に適用する環境目標は次のとおりです。

○活動量目標（エネルギー使用量）

平成26年度 (単年度目標) (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)
平成25年度比				
1%減	2%減	3%減	4%減	5%減

令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
平成25年度比				
6%減	7%減	8%減	9%減	10%減

令和6年度 (中間目標) (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)
平成25年度比				
11%減	12%減	13%減	14%減	15%減

令和11年度 (2029年度)	令和12年度 (長期目標) (2030年度)			
平成25年度比				
16%減	17%減	-	-	-

○温室効果ガス削減目標

長期目標【目標年度：令和12年度（2030年度）】

平成25年度（2013年度）基準年 排出量：4,587 t-CO₂

平成25年度（2013年度）基準年 比：39.8%（▲1,826 t-CO₂）

令和12年度（2030年度）排出量：2,761 t-CO₂

平成26年度 (単年度目標) (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)
平成25年度比				
1~2.5%減	2.5~5%減	5~7.5%減	7.5~10%減	10~12.5%減
令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)
平成25年度比				
12.5~15%減	15~17.5%減	17.5~20%減	20~22.5%減	22.5~25%減

令和6年度 (中間目標) (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)
平成25年度比				
25~27.5%減	27.5~30%減	30~32.5%減	32.5~35%減	35~37.5%減

令和11年度 (2029年度)	令和12年度 (長期目標) (2030年度)			
平成25年度比				
37.5~40%減	40~42.5%減	-	-	-

グリーン購入の推進

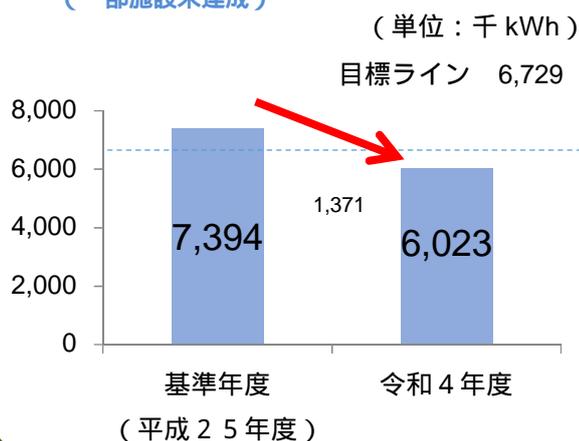
令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (中間目標) (2024年度)
毎年度80%以上（金額ベース）				

5 . 運用期間の取組結果と評価 (令和4年度実績)

令和4年4月から令和5年3月までの全施設における取組結果は次のとおりです。

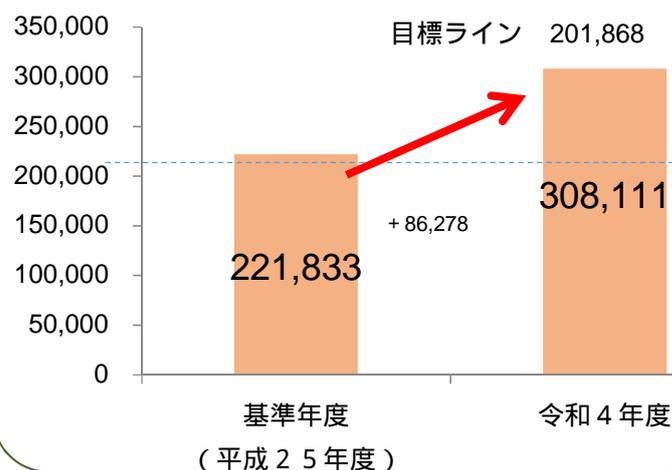
電力使用量 (全施設合計)

○ 達成 目標 9.0% 実績 18.5%
(一部施設未達成)



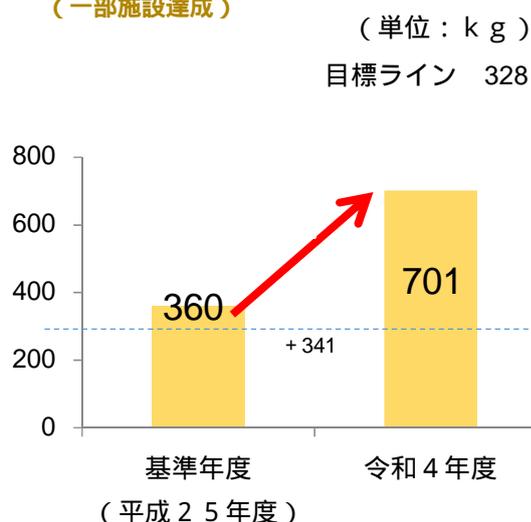
都市ガス使用量 (全施設合計)

△ 未達成 目標 -9.0% 実績 38.9%
(一部施設達成) (単位: m³)



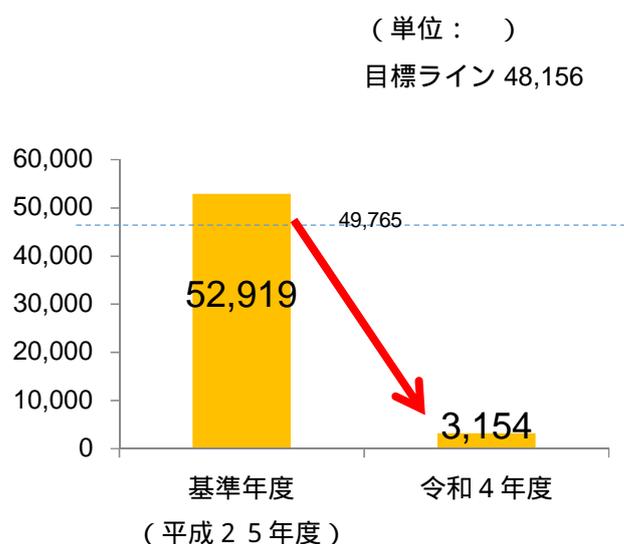
LPG (プロパンガス) 使用量 (全施設合計)

△ 未達成 目標 -9.0% 実績 94.6%
(一部施設達成)



灯油使用量 (全施設合計)

○ 達成 目標 9.0% 実績 94.0%
(一部施設未達成)

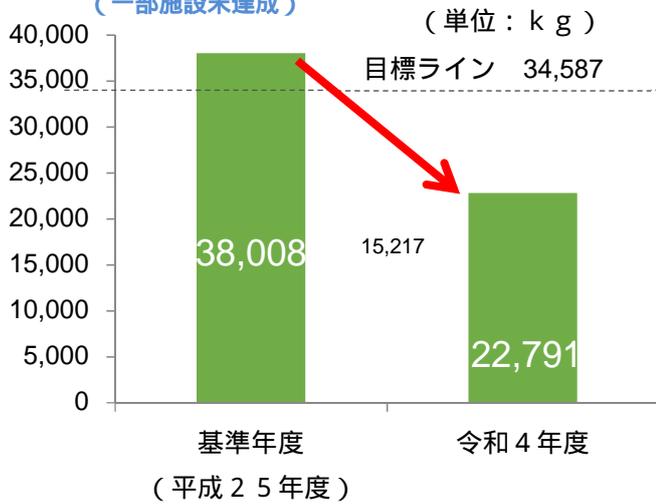


平成27年度総合体育館において、シャワーをボイラー式(灯油)から給油式(プロパン)に改修したことにより、プロパンの使用量が大幅に増加しました。

令和2年度に斎場(火葬炉)のリニューアルにより、燃料を灯油から都市ガスに変更したことにより、灯油の使用量が大幅に減少しました。

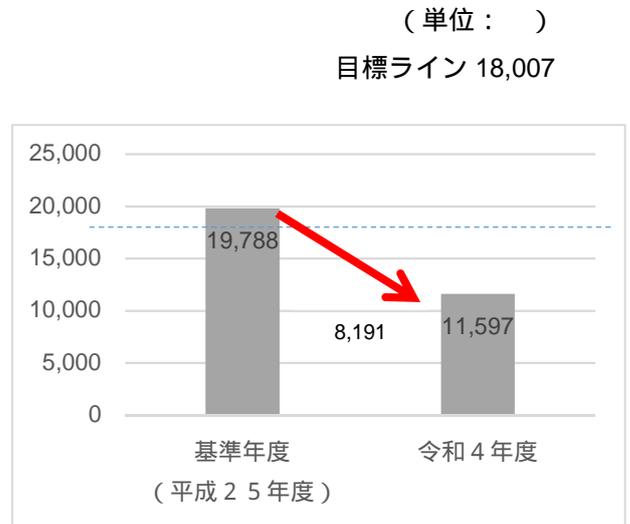
ガソリン使用量 (全施設合計)

達成 目標 9.0% 実績 40.0%
(一部施設未達成)



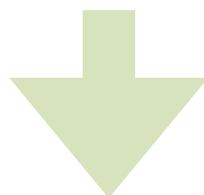
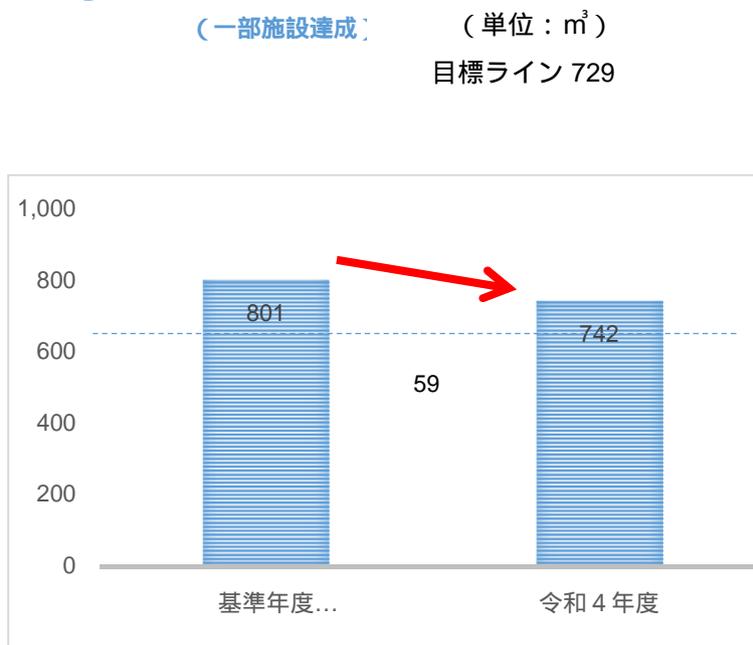
軽油使用量 (全施設合計)

達成 目標 Δ 9.0% 実績 41.4%
(一部施設達成)



CNG (圧縮天然ガス) 使用量 (全施設合計)

達成 目標 Δ 9.0% 実績 7.4%
(一部施設達成)



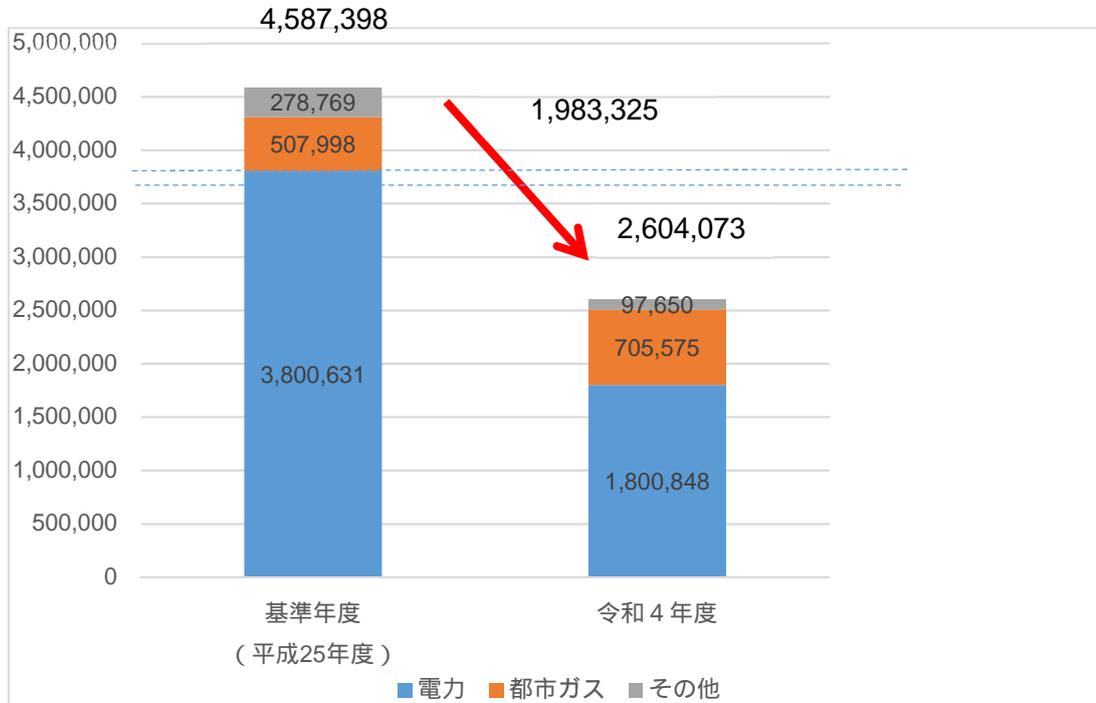
電力や自動車燃料などのエネルギー使用に基づく温室効果ガス排出量は・・・

温室効果ガス排出量（全施設合計） （変動排出係数 0.299 を使用しています。）



達成 目標ライン 3,555,233 ~ 3,669,918（単位：kg-CO₂）

（一部施設未達成）令和4年度温室効果ガス削減目標 ▲20~22.5%



グリーン購入の推進（全施設合計）



達成 目標 80%以上 実績 93.3%

（一部施設未達成）



分野	実績額(千円)
紙類	4,061
文具類	3,219
機器類(オフィス家具等)	1,391
OA機器	6,718
自動車等	2,019
その他の物品	4,843

全施設達成を意味します。

- ほぼ達成であるが、一部施設での未達成を表します。
- 達成していないが、一部施設での達成を表します。

評 価

全施設では、昨年度と同様に新型コロナウイルスの特徴を踏まえた、基本的感染対策として、換気を行った。

都市ガスの使用量においては、斎場(火葬炉)による火葬件数が大幅に増加したものの、基準年度と比較して、温室効果ガス排出原単位は大きく減少した。

また、全庁的には、ノー残業デーの推進及び働き方の見直しを実施したことにより電力量削減など、省エネ化に寄与していました。

【内部環境監査員より】

各グループの取組みについては、環境に関するチェック項目毎に真摯に取り組んでいる状況が見受けられ、概ね良好であった。

○エネルギーに関する取組みについて、エアコンの温度設定の適正化や、不要な照明の消灯等についても取り組んでいる。

○環境への取組み状況についても、庁内LANの活用等や、紙の削減や省資源化に取り組んでいる。課題として、公用車の所管グループにおいては、空気圧の点検等の取組みができていないグループが見受けられ、給油の際等に点検対応ができるよう、職場内でチェック体制等の励行を願った。

○エコマーク商品等のグリーン購入の取組みについて、いずれも適切に取り組んでいる。

総括としては、今回の内部環境監査対象のほぼ全てのグループが、この監査要件の環境について、高い意識を持って取り組んでいるように見受けられた。

今後も省資源化、省エネルギーへの取組みや、資源リサイクル、環境負荷の低減等の意識を持つように努め、環境への取り組みを継続して実施していくことが重要である。

市事務事業全体における温室効果ガス排出量

市では、「大阪狭山市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」に基づき、市で実施する事務事業について環境配慮を徹底するとともに、市内の公共施設で使用するエネルギー（電気やガス） 公用車で使用する燃料などの使用量を削減することで、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出抑制に取り組んでいます。計画では、国の「地球温暖化対策計画」に即して平成25年度を基準年度とし、長期目標年度を令和12年度（2030年度）と定め、温室効果ガスの排出量の39.8%削減を目標としつつ、中間目標【本計画の削減目標年度：令和6年度（2024年度）】を25.7%削減に設定しています。

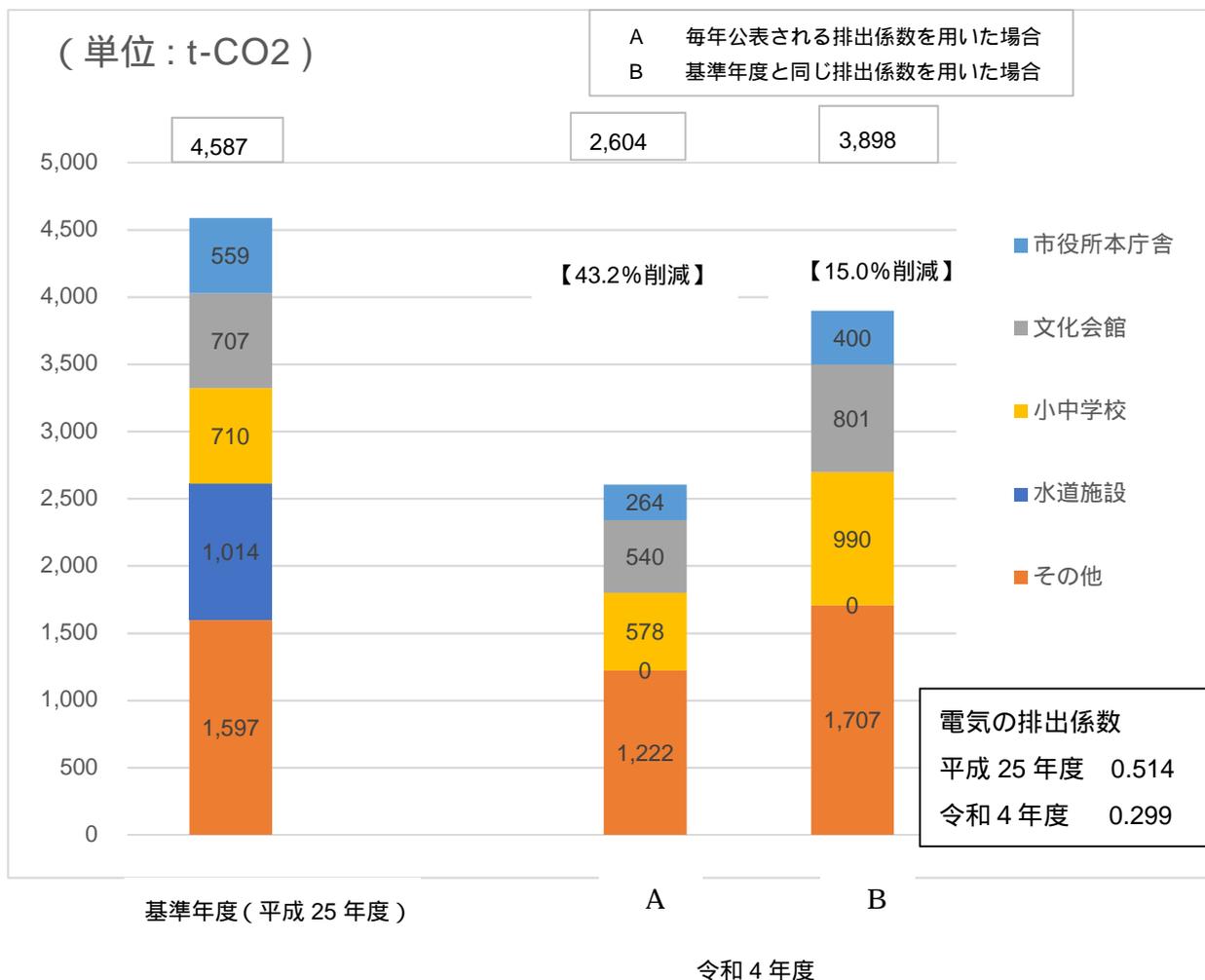
令和4年度（2022年度）の温室効果ガス排出量は、43.2%の減少となりました。（Aのグラフ）

なお、実際のエネルギー使用量による比較ができるよう、排出係数を基準年度と同じ値を用いて算出した場合の排出量は、基準年度比で15.0%の減少となりました。（Bのグラフ）

今後も、引き続き省エネ対策に取り組み、温室効果ガスの排出量の削減に努めていきます。

排出係数とは、温室効果ガスを算出するために用いられる値です。電気の排出係数については、発電所（原子力や火力など）の稼働状況などにより毎年度変動し、国から各電力会社の排出係数が公表されます。

令和3年度から水道事業施設が大阪広域水道事業団へ移管され、また、大阪狭山市消防署が堺市消防局へと統合しました。



内部環境監査の実施

令和4年度の環境目標の達成状況や環境への取組みの自己チェック等の項目について、内部環境監査を実施しました。

今回の内部環境監査は、環境負荷の軽減に関する自己チェックリストや施策の取組みに関する項目のほか、グリーン購入の実績、節電対策、以前の監査結果への対応などについて実施しました。

この結果、是正措置（要求）をすべきものはありませんでした。

監査対象であった各部（グループ）ともに資源リユースに努めるなど、高い意識をもって平素の事務事業における環境負荷の軽減の推進しました。

	評価状況			
	A：適合	B：注意	C：不適合（軽微）	D：不適合（重大）
項目数	21	0	0	0
割合	100%	0%	0%	0%

6．環境関連法規の遵守と訴訟の有無

環境関連法規の遵守評価の結果、法規の違反はなく、遵守されていることを確認しました。また、環境関連の訴訟等もありませんでした。

7．エコアクション21の取組みと今後について

本市では、これまで実施してきたエコアクション21（環境経営システム）を令和3年3月で、一旦終了することとし、この環境負荷の取組みのツールとして、大阪狭山市エコアクション21イニシアティブ・プログラムの導入を地域の事業者の皆さまにも周知・啓発し、環境負荷の低減につとめてまいりますとともに、地域全体へと取組みを広げてまいりたいと考えております。

今後は引き続き、大阪狭山市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）により、環境への取組みを効果的・効率的に運用・維持し、温室効果ガス排出量の削減への目標を持ち、行動し、結果を取りまとめ、評価して取組みを推進していきます。

8 . 全体評価

本市では、平成20年8月から「エコアクション21環境マネジメントシステム」の運用を開始し、平成21年3月に市役所本庁舎・消防本部庁舎を認証取得・登録して以降、保健センターやコミュニティセンター、文化会館、総合体育館など、登録施設の拡大を図り、市の主要施設31施設の認証・登録を完了しました。

令和4年度の環境目標の達成状況については、都市ガス及び天然ガスの使用状況においては、各施設でばらつきが見られるものの、電力、灯油等の使用量が削減目標を達成したことにより、結果として、施設全体としての温室効果ガスの排出量は、平成25年度比で令和4年度の目標20.0～22.5%削減に対して、実績43.2%の減少となりました。

また、排出係数を基準年度と同じ値を用いて算出した場合の排出量は、基準年度比で実績15.0%の削減となり、いずれも、目標値を達成しています。

しかし、引き続き令和4年度についても、一部のイベントの中止や事業の見直し等によるものが大きく影響しているものであり、今後も、市民の皆様にご利用いただく施設の利用率を高めながら、かつ、消費エネルギーを削減していくという課題に対して、既存の取組みの一層の強化に加え、新たな対策の検討も必要となってきます。

また、各施設の利用者に対しても、省エネに対する理解をより一層深めていただくための啓発活動にも積極的に取り組むとともに、各施設のエネルギー使用量の更なる圧縮を行い、温室効果ガスの削減に取り組んでいく必要があります。

本市では、「地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」に基づき、令和12年度（2030年度）までの11年間で長期目標を達成するため、職員一人ひとりが環境意識をさらに高め、日常のオフィス活動はもとより、各事務事業においても、より一層、環境配慮の視点に立った企画・立案に努めるなど、環境都市としてさらなる高みをめざし、全職員及び関係機関が一丸となり環境への負荷軽減に取り組んでいきます。

資料編

エコ川柳コンテスト入選作品

7月20日～8月31日に公募した 大阪狭山市エコ川柳コンテストへの応募作品
143点の中から、大阪府地球温暖化防止活動推進センターのご協力により、入選
作品10点を選出しました。

たくさんのご応募、誠にありがとうございました。

断”車利”の 散歩で減らす CO2

だいちゃんZ!

節電は まずフィルター掃除から

たぬき親父

節電も 慣れてしまえば お手のもの

あせみのかかし

婆ちゃんの 昭和つうウス 孫ハマル

はなはあば

なぜだろう わが家のゴミに カラス来ず

あぐっち

残り物 あの手にこの手で 際デビエー

つぼみ

残り物 卵でどして シン・オガス

山宗雲水

分別の 資源へ手を振る「また会おな！」

宮のふみ

我が家では スープの素は 野菜ゴミ

和ちゃん

何時も待つ 荷物にならぬ エコ意識

はるみちゃん

〔順不同〕

施設別温室効果ガス排出原単位量一覧表（固定排出係数:0.514）

○基準年度（2013年度）と2022年度との比較です。

○原単位とは、一定量の生産物をつくるために使用する、または排出するモノや時間などの量のことを言います。

例えば、一定量の生産物をつくるのに必要とするエネルギーのことをエネルギー原単位、一定量の生産物をつくる過程で排出する二酸化炭素排出量を排出原単位と呼びます。

$$\text{温室効果ガス排出原単位} = \frac{\text{温室効果ガス排出量(kg-CO2)}}{\text{エネルギー使用量と密接な関連を持つ値（指数値）}}$$

部局	※排出係数 〔0.514〕	施設名	温室効果ガス排出量 (kg-CO2)	原単位			増・減
				指数値	指数	温室効果ガス排出原単位	
市長部局	2013年度	文化会館	706,763	220,202	利用者数(人)	3.2096	増
	2022年度		801,229	179,476		4.4643	
	2013年度	斎場・霊園	119,919	560	火葬件数(件)	214.1405	減
	2022年度		162,062	1,008		160.7758	
	2013年度	下水道事業(マンホール・汚水中継)	144,177	1,314,047	送水量(m)	0.1097	増
	2022年度		131,354	6,610		19.8720	
教育委員会	2013年度	公民館・図書館	200,117	329,016	利用者数(人)	0.6082	増
	2022年度		220,761	179,737		1.2282	
	2013年度	総合体育館	128,649	111,409	利用者数(人)	1.1547	増
	2022年度		143,539	65,058		2.2063	
	2013年度	池尻体育館	42,477	24,816	利用者数(人)	1.7117	増
	2022年度		57,530	24,816		2.3183	
	2013年度	市民総合グラウンド・山本テニスコート	23,867	43,719	利用者数(人)	0.5459	減
	2022年度		23,569	71,556		0.3294	
	2013年度	野球場	18,723	16,325	利用者数(人)	1.1469	減
	2022年度		11,379	17,146		0.6637	
	2013年度	ふれあいスポーツ広場	15,664	23,065	利用者数(人)	0.6791	増
	2022年度		16,257	19,436		0.8364	
	2013年度	青少年野外活動広場	11,433	51,694	利用者数(人)	0.2212	増
	2022年度		9,173	40,765		0.2250	
	2013年度	大野テニスコート・第三少年運動広場	5,323	24,997	利用者数(人)	0.2129	減
	2022年度		2,661	18,451		0.1442	
	2013年度	スポーツ広場	54	7,311	利用者数(人)	0.0074	増
	2022年度		24	(青少年野外活動広場に含む)			
	2013年度	南青少年運動広場	0	21,903	利用者数(人)	0.0000	増
	2022年度		60	12,052		0.0050	

※ 電力の実排出係数は、0.514kg-co2/kWh（平成25年度）を使用しています。（電力会社名：関西電力）

部の環境運営方針カード（令和4年度）

部（局、室）名 危機管理室

◎令和4年度の環境運営方針

【環境負荷低減に向け、令和4年度に取り組む内容】

- ・市が災害時のために備蓄しているアルファ化米等の備蓄食糧を賞味期限が切れる前に、市及び自主防災組織の訓練時や生活困窮者向けに提供します。

【達成状況の確認・評価】

- ・賞味期限が切れる前にアルファ化米等の備蓄食糧を、市及び自主防災組織等が行う訓練時や生活困窮者に提供しました。

部（局、室）名 政策推進部

◎令和4年度の環境運営方針

【環境負荷低減に向け、令和4年度に取り組む内容】

- ・内部資料を印刷する際は裏紙の使用を徹底し、紙の資源リサイクルに努めます。
- ・会議等において、ペーパーレス化を順次進め、紙の使用量の削減に努めます。
- ・繁忙期等の特殊な事情を除き、毎週水曜日のノー残業デーのほか、各部署でリフレッシュデーを定めるなど、定時での帰宅を促進し、残業による光熱水費の削減に取り組めます。
- ・消耗品、印刷製本、備品購入等において、エコ商品、リサイクル原料の使用品を購入するなど環境負荷の低減に配慮します。

【達成状況の確認・評価】

- ・内部資料を印刷する際は、個人情報等に関する記載がないことを確認の上、裏表紙の使用による資源リサイクルに努めた。
- ・部内会議をはじめ、各種会議でのペーパーレス化の推進による紙の使用量の低減に努めた。
- ・繁忙期等における特殊な事情を除き、出来る限り定時での帰宅を促進するとともに、昼休みの執務室内の消灯など、節電対策に努めた。
- ・消耗品、印刷製本、備品購入等においては、エコ商品やリサイクル原料の使用品を購入するなど、環境負荷の低減に努めた。

◎令和4年度の環境運営方針

【環境負荷低減に向け、令和4年度に取り組む内容】

○空調稼働及び室内照明の縮減<行財政マネジメント室>

- ・夏冬の空調稼働の開始時刻を遅らせ、終了時刻を早めることにより、空調機器の電力使用量の縮減を図ります。
- ・昼休みの執務室内の消灯(窓口部門は除く)や、夏季期間中において、庁舎内を午後7時に一斉消灯することなどにより、節電対策に努めます。

○グリーン購入の推進<総務・ICT推進G、法務・契約G、税務G、行財政マネジメント室>

- ・消耗品、印刷製本、備品購入等において、エコ商品、リサイクル原料の使用品を購入するなど環境負荷の低減に配慮します。
- ・ペーパーレス化の会議を浸透させ、システムを活用し、紙の使用量の削減を図ります。

【達成状況の確認・評価】

- ・夏季及び冬季の省エネ月間を実施し、節電に取り組んだが、夏季空調稼働期間中（6月～9月）の電気使用量は前年度比+19.4%であった。しかし、冬季空調稼働期間中（12月～3月）の電気使用量は前年度比-6.6%であった。
- ・昼休みの執務室内の消灯や夏季節電期間においては午後7時に消灯するなど、節電対策を実行していたが、年間の電気使用量は前年度比+3.6%となった。
- ・例年どおりの対策を行っていたものの、夏季の電気使用量が増加したのは、コロナ対策による換気の推奨が原因であると考えられる。冬季の電気使用量が減少したのは、本庁舎照明器具をLEDに交換したため照明器具の消費電力が下がったためと考えられる。
- ・内部資料を印刷する際は、個人情報に関する記載がないことを確認したうえで裏紙を使用し、資源リサイクルに努めた。
- ・消耗品、印刷製本などにおいて、エコ商品、リサイクル原料の使用品を購入するなど、環境負荷の低減に努めた。
 - ・部内会議をはじめ、各種会議においてパソコン持参によるペーパーレス化を図り、紙の使用量の削減を図った。

◎令和4年度の環境運営方針

【環境負荷低減に向け、令和4年度に取り組む内容】

- ・生活保護世帯への家庭訪問や介護認定調査員の訪問調査など、近距離の場合は可能な限り、徒歩や公用自転車を利用することで、CO₂の削減に取り組みます。
- ・各部署で始業前や昼休み時の消灯を徹底します。
- ・所管する各施設では、グリーンカーテンの設置やこまめな消灯等の徹底により節電対策を推進します。
- ・所管する各施設では、夏季や冬季には、高齢者、障がい者、乳幼児やその保護者が快適に利用することができるよう、新型コロナウイルスの感染予防のための換気を適宜行いながら、室温調整をこまめに行うなど、省エネルギーの推進に取り組みます。
- ・ノー残業デー（毎週水曜日）の徹底及びグループ独自のノー残業デーにより光熱水費を削減します。
- ・プレビュー画面の利用及び確認、裏紙の利用等により、コピー用紙やOA印刷用紙の使用を削減します。

【達成状況の確認・評価】

- ・生活保護世帯の家庭訪問や、介護認定調査員の訪問調査も、近距離は移転者を使用し、CO₂削減に取り組みました。
- ・部内の各グループにおいて、始業前、昼食時の消灯を徹底しました。
- ・グリーンカーテンは所管する施設（さやま荘、さつき荘）において、設置しました。
- ・所管施設での冷暖房については、配慮が必要な対象にも気を配りながら、換気と室温調整をまめに行い、省エネルギーの推進に努めました。
- ・ノー残業デーについては、健康福祉部においても声掛けを行いながら（やむを得ない時間外が発生したグループもあったが）、実行に努力した。
- ・裏紙利用や、庁内 Web の回覧やメールの活用で、紙削減に努めた。

◎令和4年度の環境運営方針

【環境負荷低減に向け、令和4年度に取り組む内容】

- ・公園・緑道の照明をLED化し、CO₂の排出を抑制します。
- ・電気バスの導入を目指します。

【達成状況の確認・評価】

- ・公園緑道の照明についてLED化を実施し、電気料金、CO₂の抑制を図った。
- ・令和5年2月より電気バスを導入し、低振動・低騒音、CO₂排出量の大幅削減を図った。

◎令和4年度の環境運営方針

【環境負荷低減に向け、令和4年度に取り組む内容】

- ・紙の使用量を必要最小限度に抑えるとともに、再生を意識した分別を行います。（市民窓口グループ）
- ・消耗品、印刷製本、備品購入等において、エコ商品、リサイクル原料の使用品を購入するなど環境負荷の低減に配慮します。（市民相談・人権啓発グループ）
- ・公共施設等における環境マネジメントシステムの適正な運用に努めるとともに、市民との協働によるごみ減量対策推進会議において調査・研究及び啓発活動を行い、ごみの減量化とリサイクルの推進を図ります。（生活環境グループ）
- ・ガソリン使用量の削減をめざし、現場確認や出張、研修の際、最適なルートを選択や乗り合いをすることで自動車走行距離を短縮するとともに、市役所周辺については、徒歩での移動を心がけます。また、エコドライブの実践により燃費の向上を図ります。（産業振興・魅力創出グループ）

【達成状況の確認・評価】

- ・紙の使用量を必要最小限度に抑えるとともに、再生を意識した分別を行いました。（市民窓口グループ）
- ・消耗品等において、エコ商品やリサイクル原料の使用品を購入した。また、講座等で使用する物品についてもリサイクル原料の製品で繰り返し使用し環境負荷の低減に配慮しました。（市民相談・人権啓発グループ）
- ・大阪狭山市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）による内部環境監査を行い、環境マネジメントシステムの適切な運用に努めた。また、市民との協働によるごみ減量対策推進会議では、年2回の「ごみ減NEWS」の発行とともに、市内の大規模イベントにおいて、ごみ減量に関する啓発パネル展示などの活動を行った。（生活環境グループ）
- ・ガソリン使用量の削減をめざし、現場確認や出張、研修の際、最適なルートを選択や乗り合いをすることで自動車走行距離を短縮するとともに、市役所周辺については、徒歩での移動を心がけました。また、エコドライブの実践により燃費の向上を図りました。

（産業振興・魅力創出グループ）

◎令和4年度の環境運営方針

【環境負荷低減に向け、令和4年度に取り組む内容】

- ・毎週水曜日のノー残業デーの徹底及び室独自のノー残業デーを設定し、時間外勤務の縮減により、光熱水費の使用量の削減に取り組めます。
- ・OA 機器の印刷において、裏面使用を徹底するとともに、室内の情報共有に LoGo チャットを活用するなど、紙の使用量の削減に努めます。
- ・会計事務に関する添付書類の周知徹底に努め、引き続き、紙の使用量の削減を進めます。

【達成状況の確認・評価】

- ・毎週水曜日のノー残業デーのほか、毎週月曜日を独自のノー残業デーに設定し、定時の帰宅を促進しました。
- ・内部資料の印刷時における裏面の再利用や、LoGo チャット活用による情報共有などにより、紙の使用量の抑制に努めました。
- ・伝票審査を通して、必要な書類の周知を行い、会計事務担当者が添付書類を再点検することにより紙の削減を図りました。

◎令和4年度の環境運営方針

【環境負荷低減に向け、令和4年度に取り組む内容】

○事務の電子化の推進

- ・議会における事務の電子化を推進し、引き続き紙の使用量の削減に取り組めます。

【達成状況の確認・評価】

- ・市議会議員、議会事務局が利用できるグループウェアを導入して以降、各部局からの情報提供など、議員用資料のペーパーレス化が進み、紙の使用量を大幅に削減することができた。

◎令和4年度の環境運営方針

【環境負荷低減に向け、令和4年度に取り組む内容】

- 本庁舎、幼稚園、こども園、“ぽっぽえん”、“UPっふ”での備品購入については、グリーン購入の取組みを進めるとともに、ごみの削減や資源リサイクルを図るよう子どもや保護者に啓発を進めます。
- グリーンカーテンや、農作物の栽培、紙パック・古紙回収などを通して、園児や保護者に体験学習を行います。

【達成状況の確認・評価】

- 備品・消耗品の購入については、環境への負荷に配慮し、可能な限りグリーン購入に努めました。また、幼稚園・こども園の園だより等において、ごみの削減や資源リサイクル、省エネ等の環境に配慮する内容を掲載し、子どもや保護者への啓発に努めました。
- 各施設において、農作物の栽培、ベルマーク・紙パック・PETボトルのキャップ・プルトップの回収などを通して、園児や保護者、利用者にも啓発を行い、環境負荷の軽減に努めました。
 - ・農作物の栽培（幼稚園・こども園・ぽっぽえん）
 - ・ベルマークの回収（幼稚園・こども園・ぽっぽえん・UPっふ）
 - ・紙パック・PETボトルのキャップ回収（幼稚園・こども園）
 - ・プルトップの回収（幼稚園・こども園・ぽっぽえん・UPっふ）

部（局、室）名 総合行政委員会事務局

◎令和4年度の運営方針

【環境負荷低減に向け、令和4年度に取り組む内容】

- ・選挙において設置するポスター掲示板の材料について、再生可能なボードを使用することにより、環境負荷の軽減に努めます。
- ・選挙の啓発物品について、エコ商品の選択に努め、環境に配慮した取組みを進めます。
- ・省エネルギー対策として、始業前や昼休み時の休憩時間に執務室の電気の消灯を実施し、また、室内の温度管理を徹底し、電気使用量の削減に努めます。

【達成状況の確認・評価】

- ・令和4年7月に執行した参議院議員通常選挙において、市内117箇所に設置するポスター掲示板の材料については、再生可能なボードを使用することにより、環境負荷の軽減に努めた。
- ・省エネルギー対策として、始業前や昼休み時の休憩時間に執務室の電気の消灯を実施。また、温度計を確認することにより、室内の温度管理を徹底し、電気使用量の削減に努めた。

◎令和4年度の環境運営方針

【環境負荷低減に向け、令和4年度に取り組む内容】

- ・グリーン購入を推進します。
- ・再生砂、再生路盤材、再生アスファルト混合材の使用など、資源の有効利用及び廃棄物の排出削減に努めます。
- ・道路管理者及び道路占有者と調整し、同一箇所での工事施工を効率的に行い、廃棄物の排出抑制など環境負荷の軽減に努めます。

【達成状況の確認・評価】

- ・エコマーク認定商品を選定するなど、グリーン購入を推進した。
- ・市が発注する工事において、再生砂、再生路盤材、再生アスファルト混合材を使用することにより、資源の有効利用及び廃棄物の排出削減に努めた。
- ・工事施工箇所が他工事と重複する可能性のある箇所は、道路管理者及び道路占有者と調整し、計画的かつ効率的に工事を行い、廃棄物の排出抑制など環境負荷の軽減に努めた。

◎令和4年度の環境運営方針

【環境負荷低減に向け、令和4年度に取り組む内容】

- ・紙の両面刷り、裏紙使用を心掛けます。
- ・執務室を長時間離れる場合には、パソコンの電源を落とします。
- ・執務室の消灯など、時間外の節電に努めます。
- ・公用車のエコ運転に努めます。
- ・消耗品のグリーン購入を積極的に活用します。
- ・環境問題について、職員の意識向上に努めます。
- ・施設の改修工事にあわせて、エネルギー効率の良い設備や、クリーンエネルギー設備を積極的に導入し、低酸素社会の実現に向けた施設整備を行います。

【達成状況の確認・評価】

- ・紙の両面刷り・Nアップ印刷を心がけ、紙使用量の削減を行った。また裏紙をストックし、FAX用紙やメモ用紙としての使用を行った。
- ・会議や出張等で執務室を離れる際は、ECOモードに設定する・電源をおとすことを心がけ省エネに努めた。
- ・アイドリングストップの実施・急発進/急停止の抑制・冷暖房の節制に努め、エコ運転に取り組んだ。
 - ・事前にカタログで確認し、可能な限りグリーン購入に努めた。また学校においても、教育委員会同様、グリーン購入を進めるよう進言した。
- ・裏紙の使用・節水・節電・ごみの削減・エコ商品の購入を心がけるよう、各グループにて声を掛けあった。また、学校や委託会社に対しても、運営に支障が出ない範囲で節水・節電に努めるよう進言した。

令和4年度環境活動計画書（施策関連分）

政策体系	所属	事業名	事業内容	取組内容	最終目標値	項目	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	最終実績値	
2.健康でいきいきと暮らせるまちづくり ⑥高齢者が安心して暮らせる地域づくり	高齢介護グループ	介護認定審査事業 介護認定審査員が介護サービスを利用するために、介護認定審査員が保健者の心身の負担を軽減するための訪問調査した結果をもとに、二次判定（コンピュータ判定）により更介護状態区分を導き出す。審査票の編集と主治医意見書をもとに、二次判定（介護認定審査員）により申請者の介護度を決定する。	毎週水曜日のノーマルグループには、月末・月初期等特殊な事情を除き、定時の集まりを促し、職員の見守りや相談を促す。ノーマルグループを定時の集まりの中で、職員間や人々による交流の大切さを認識してもらい、働き活動に対する意識づけを行う。	介護認定審査員が訪問サービスを利用するために、介護認定審査員が保健者の心身の負担を軽減するための訪問調査した結果をもとに、二次判定（コンピュータ判定）により更介護状態区分を導き出す。審査票の編集と主治医意見書をもとに、二次判定（介護認定審査員）により申請者の介護度を決定する。	年間訪問回数約1,400件の内、公用車を利用しない回数344件（四半期：36件）	活動計画 徒歩 19件 自転車 68件 乗合バス 0件 乗車 2件 徒歩+自転車 2件 合計 122件	第1四半期 徒歩 4件 自転車 42件 乗合バス 0件 乗車 5件 徒歩+自転車 78件	第2四半期 徒歩 57件 自転車 0件 乗合バス 3件 乗車 0件 徒歩+自転車 111件	第3四半期 徒歩 4件 自転車 42件 乗合バス 0件 乗車 5件 徒歩+自転車 78件	第4四半期 徒歩 12件 自転車 39件 乗合バス 6件 乗車 6件 徒歩+自転車 42件 合計 103件	最終実績値 年間訪問回数約1,400件の内、公用車を利用しない回数344件（四半期：36件）	
	高齢介護グループ	介護認定審査事業	毎週水曜日のノーマルグループには、月末・月初期等特殊な事情を除き、定時の集まりを促し、職員の見守りや相談を促す。ノーマルグループを定時の集まりの中で、職員間や人々による交流の大切さを認識してもらい、働き活動に対する意識づけを行う。	毎週水曜日のノーマルグループからのノーマルグループの告知は、メールや、呼びかけにおいて、時間外連絡及び仕事の効率化を図る。	ノーマルグループにおける事業者数0名、緊要時等特殊な事情が5名（緊急時を除く）	活動計画 徒歩 1週/12週 乗合バス 4人 乗車 4人 合計 8人	第1四半期 徒歩 1週/12週 乗合バス 4人 乗車 4人 合計 8人	第2四半期 徒歩 1週/13週 乗合バス 1人 乗車 0人 合計 1人	第3四半期 徒歩 1週/11週 乗合バス 0人 乗車 0人 合計 0人	第4四半期 徒歩 1週/12週 乗合バス 0人 乗車 0人 合計 0人	最終実績値 ノーマルグループにおける事業者数0名（緊急時を除く）	
	生活保護グループ	生活保護全取	生活保護・中国語通訳人支援、日赤事業、生活困窮者支援、その他の支援、困難に関する事務	ケース訪問時に公用自転車を利用することで、ガソリン使用量を削減する。	市役所より2キロ圏内の住居へによる訪問とする。	市役所より2キロ圏内の住居への訪問の内、2割を公用自転車による訪問とする。	活動計画 徒歩 1週/13週 乗合バス 4人 乗車 0人 合計 4人	第1四半期 徒歩 1週/13週 乗合バス 4人 乗車 0人 合計 4人	第2四半期 徒歩 1週/13週 乗合バス 4人 乗車 0人 合計 4人	第3四半期 徒歩 1週/11週 乗合バス 0人 乗車 0人 合計 0人	第4四半期 徒歩 1週/12週 乗合バス 0人 乗車 0人 合計 0人	最終実績値 市役所より2キロ圏内の住居への訪問の内、2割を公用自転車による訪問とする。
	保険年金グループ	国民健康保険・後期高齢者医療・福祉医療、国民年金事務全般	国民健康保険の資格の取得、専任事務、保険料の賦課及び徴収に関する事務、老人医療費、重度障がい者医療費、ひとり親家庭医療費、子ども医療費の賦課に関する事務、後期高齢者医療に関する事務、国民年金の取得、専任に関する事務、国民年金受給に関する事務	国民健康保険の資格の取得、専任事務、保険料の賦課及び徴収に関する事務、老人医療費、重度障がい者医療費、ひとり親家庭医療費、子ども医療費の賦課に関する事務、後期高齢者医療に関する事務、国民年金の取得、専任に関する事務、国民年金受給に関する事務	R4年度の氷温日及び急凍日の日数（月次）を把握し、98日中、約80%の74日以上	R4年度の氷温日及び急凍日の日数（月次）を把握し、98日中、約80%の74日以上	活動計画 ノーマルグループ当日に朝礼での啓発を行う	第1四半期 ノーマルグループ当日に朝礼での啓発を行う	第2四半期 ノーマルグループ当日に朝礼での啓発を行う	第3四半期 ノーマルグループ当日に朝礼での啓発を行う	第4四半期 ノーマルグループ当日に朝礼での啓発を行う	最終実績値 73日(78%)となり、未達成
	保険年金グループ	国民健康保険・後期高齢者医療・福祉医療、国民年金事務全般	国民健康保険の資格の取得、専任事務、保険料の賦課及び徴収に関する事務、老人医療費、重度障がい者医療費、ひとり親家庭医療費、子ども医療費の賦課に関する事務、後期高齢者医療に関する事務、国民年金の取得、専任に関する事務、国民年金受給に関する事務	使用紙の削減(コピー用紙、OA印刷用紙の削減)、プレビュー画面の利用及び確認により印刷枚数を削減する。	R4年度実績(A4換算)267,000枚の1%減である264,330枚以内	R4年度実績(A4換算)267,000枚の1%減である264,330枚以内	活動計画 月毎の走行距離、燃費の把握及びエコドライブ法の周知	第1四半期 月毎の走行距離、燃費の把握及びエコドライブ法の周知	第2四半期 月毎の走行距離、燃費の把握及びエコドライブ法の周知	第3四半期 月毎の走行距離、燃費の把握及びエコドライブ法の周知	第4四半期 月毎の走行距離、燃費の把握及びエコドライブ法の周知	最終実績値 令和4年度燃料消費量 4200
	都市計画グループ	開発指導等所管事務全般	都市計画、建築・開発行為の指導等に関する事務	ガソリン使用量の削減を目的とし、開発指導及び建築指導に関する事務、燃費の把握及びエコドライブ法の周知、エコドライブ法の周知、燃費の把握、燃費の削減、燃費の削減を目的とし、燃費の削減を目的とする。	燃費削減率(基準年度比)を平成25年度燃費削減率より向上させる。燃費削減率(基準年度比)を平成25年度燃費削減率より向上させる。	燃費削減率(基準年度比)を平成25年度燃費削減率より向上させる。燃費削減率(基準年度比)を平成25年度燃費削減率より向上させる。	活動計画 燃費削減率(基準年度比)を平成25年度燃費削減率より向上させる。	第1四半期 燃費削減率(基準年度比)を平成25年度燃費削減率より向上させる。	第2四半期 燃費削減率(基準年度比)を平成25年度燃費削減率より向上させる。	第3四半期 燃費削減率(基準年度比)を平成25年度燃費削減率より向上させる。	第4四半期 燃費削減率(基準年度比)を平成25年度燃費削減率より向上させる。	最終実績値 燃費削減率(基準年度比)を平成25年度燃費削減率より向上させる。
	土木グループ	道路維持・改良事業	道路に関する苦情の無い工事実施に努める。	低騒音型の機械の使用等により工事騒音・振動防止に取り組む。歩道部分の透水舗装、機軸土等を利用した騒音対策等、今後にも利用できるようにしては行。	騒音・振動苦情件数0件	騒音・振動苦情件数0件	活動計画 工事騒音・振動防止に取り組む	第1四半期 工事騒音・振動防止に取り組む	第2四半期 工事騒音・振動防止に取り組む	第3四半期 工事騒音・振動防止に取り組む	第4四半期 工事騒音・振動防止に取り組む	最終実績値 騒音・振動苦情件数0件
	下水道工務グループ	公共下水道建設事業	公共下水道工事におけるアスファルト・砕石などの再生資材の利用。	公共下水道工事におけるアスファルト・砕石などの再生資材の利用。	利用率100%	利用率100%	活動計画 再生資材の利用計画	第1四半期 再生資材の利用計画	第2四半期 再生資材の利用計画	第3四半期 再生資材の利用計画	第4四半期 再生資材の利用計画	最終実績値 利用率100%
	治水対策グループ	所管事務全般	農業、農業用水路及びため池の管理、農業土木事業、土地改良事業に関する事務	現場作業で使用するノーマルグループの公用車の使用機会が多くなる傾向を把握し、燃費の削減を目的とし、燃費の削減を目的とする。	公用車を使用する際は、低騒音型車を使用することを目指す。燃費の削減を目的とし、燃費の削減を目的とする。	公用車を使用する際は、低騒音型車を使用することを目指す。燃費の削減を目的とし、燃費の削減を目的とする。	活動計画 燃費削減率(基準年度比)を平成25年度燃費削減率より向上させる。	第1四半期 燃費削減率(基準年度比)を平成25年度燃費削減率より向上させる。	第2四半期 燃費削減率(基準年度比)を平成25年度燃費削減率より向上させる。	第3四半期 燃費削減率(基準年度比)を平成25年度燃費削減率より向上させる。	第4四半期 燃費削減率(基準年度比)を平成25年度燃費削減率より向上させる。	最終実績値 燃費削減率(基準年度比)を平成25年度燃費削減率より向上させる。
	経費総務グループ	下水道事業	・内部資料を印刷する際は、裏紙の使用を徹底し、資源リユースに努める。	・内部資料を印刷する際は、裏紙の使用を徹底し、資源リユースに努める。	・裏紙使用の徹底 ・コピー用紙使用量 72,000枚以内	・裏紙使用の徹底 ・コピー用紙使用量 72,000枚以内	活動計画 ・裏紙使用の徹底 ・コピー用紙使用量 72,000枚以内	第1四半期 ・裏紙使用の徹底 ・コピー用紙使用量 72,000枚以内	第2四半期 ・裏紙使用の徹底 ・コピー用紙使用量 72,000枚以内	第3四半期 ・裏紙使用の徹底 ・コピー用紙使用量 72,000枚以内	第4四半期 ・裏紙使用の徹底 ・コピー用紙使用量 72,000枚以内	最終実績値 100%
公園緑地グループ	再生可能資源の有効利用	再生可能資源の有効利用を行う。	再生可能資源の有効利用を行う。	再生可能資源の有効利用	再生可能資源の有効利用	活動計画 再生可能資源の有効利用	第1四半期 再生可能資源の有効利用	第2四半期 再生可能資源の有効利用	第3四半期 再生可能資源の有効利用	第4四半期 再生可能資源の有効利用	最終実績値 再生可能資源の有効利用	

令和4年度環境活動計画書（施策関連分）

政策体系	所属	事業名	事業内容	取組内容	最終目標値	最終活動計画				最終実績値
						第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
3. 自然・調和した活 力のある快適なまち づくり ①地域から始める地 球にやさしい環境づく り	生活環境グループ	市民協働によるごみ減 量活動	市内で行われる各種イ ベントにおいて、市民 に対してごみの減量 の啓発活動を行う。	今年度は、(狭山池まつり)「環境リサイクル」はばたきフェスタ」 の3イベントにおいてごみ減量啓発活動を実施する。ごみ減量啓 発推進活動ではイベントにおいて、生ごみの水切りや資源物の 分別推進によるごみ減量別冊を掲載したチラシや啓発品を配布 する。また、ごみ減量別冊を掲載したチラシや啓発品を配布 する。また、ごみ減量別冊を掲載したチラシや啓発品を配布 する。また、ごみ減量別冊を掲載したチラシや啓発品を配布 する。	啓券チラシ(画面印刷)1000枚 啓券チラシ(画面印刷)1000枚を配布 (ごみ減量別冊掲載品)との開 封	啓券チラシ(画面印刷) (ごみ減量別冊掲載 品)との開封	啓券チラシ(画面印刷) (ごみ減量別冊掲載 品)との開封	啓券チラシ(画面印刷) (ごみ減量別冊掲載 品)との開封	啓券チラシ(画面印刷)1000枚を配布 (ごみ減量別冊掲載品)との開 封	
				実施状況	達成	達成	達成	達成		
3. 自然・調和した活 力のある快適なまち づくり ②産業振興による にぎわいの創出	産業振興・魅力創出 グループ	所管事務全般	産業振興、商工業振興、消費生活、観光振興、労働政策、就労支 援などに関する事務	【省エネ率】 省エネ率を向上させることにより、光熱費の削減を目指す。 【省エネ率】 省エネ率を向上させることにより、光熱費の削減を目指す。 【省エネ率】 省エネ率を向上させることにより、光熱費の削減を目指す。	毎週水曜日のノーマル 減量活動を実施する。ごみ減量啓 発推進活動ではイベントにおいて、生ごみの水切りや資源物の 分別推進によるごみ減量別冊を掲載したチラシや啓発品を配布 する。また、ごみ減量別冊を掲載したチラシや啓発品を配布 する。また、ごみ減量別冊を掲載したチラシや啓発品を配布 する。	毎週水曜日のノーマル 減量活動を実施する。ごみ減量啓 発推進活動ではイベントにおいて、生ごみの水切りや資源物の 分別推進によるごみ減量別冊を掲載したチラシや啓発品を配布 する。また、ごみ減量別冊を掲載したチラシや啓発品を配布 する。また、ごみ減量別冊を掲載したチラシや啓発品を配布 する。	毎週水曜日のノーマル 減量活動を実施する。ごみ減量啓 発推進活動ではイベントにおいて、生ごみの水切りや資源物の 分別推進によるごみ減量別冊を掲載したチラシや啓発品を配布 する。また、ごみ減量別冊を掲載したチラシや啓発品を配布 する。また、ごみ減量別冊を掲載したチラシや啓発品を配布 する。	毎週水曜日のノーマル 減量活動を実施する。ごみ減量啓 発推進活動ではイベントにおいて、生ごみの水切りや資源物の 分別推進によるごみ減量別冊を掲載したチラシや啓発品を配布 する。また、ごみ減量別冊を掲載したチラシや啓発品を配布 する。また、ごみ減量別冊を掲載したチラシや啓発品を配布 する。	0人	
				実施状況	達成	達成	達成	達成		
4. 豊かな心と文化を 育むまちづくり ⑤市民文化・歴史文化 の振興	歴史文化グループ	市民協働・人権啓発 グループ	市民協働・人権啓発 グループ	市民協働・人権啓発 グループ	インターネット掲載 の発行	インターネット掲載 の発行	インターネット掲載 の発行	インターネット掲載 の発行	インターネット掲載(年2種類)	
				実施状況	達成	達成	達成	達成		
4. 豊かな心と文化を 育むまちづくり ⑤市民文化・歴史文化 の振興	市民協働・人権啓発 グループ	市民協働・人権啓発 グループ	市民協働・人権啓発 グループ	市民協働・人権啓発 グループ	インターネット掲載 の発行	インターネット掲載 の発行	インターネット掲載 の発行	インターネット掲載 の発行	インターネット掲載(年2種類)	
				実施状況	達成	達成	達成	達成		
5. 安心で安心できる まちづくり ①防災・防災対策の強 化	危機管理室	備蓄食料の提供	市民協働・人権啓発 グループ	市民協働・人権啓発 グループ	インターネット掲載 の発行	インターネット掲載 の発行	インターネット掲載 の発行	インターネット掲載 の発行	インターネット掲載(年2種類)	
				実施状況	達成	達成	達成	達成		
6. 施策の推進に向け て ②市民と対話する 市民協働・人権啓発 グループ	市民協働・人権啓発 グループ	市民協働・人権啓発 グループ	市民協働・人権啓発 グループ	市民協働・人権啓発 グループ	インターネット掲載 の発行	インターネット掲載 の発行	インターネット掲載 の発行	インターネット掲載 の発行	インターネット掲載(年2種類)	
				実施状況	達成	達成	達成	達成		
6. 施策の推進に向け て ②情報共有と市民の 充実	市民協働・人権啓発 グループ	市民協働・人権啓発 グループ	市民協働・人権啓発 グループ	市民協働・人権啓発 グループ	インターネット掲載 の発行	インターネット掲載 の発行	インターネット掲載 の発行	インターネット掲載 の発行	インターネット掲載(年2種類)	
				実施状況	達成	達成	達成	達成		

大阪狭山市地球温暖化対策実行計画

事務事業編

環境活動レポート

発行日 令和6年3月31日

大阪狭山市市民生活部生活環境グループ

〒589-8501

大阪狭山市狭山一丁目 2384 番地の 1

電話 072-366-0011

FAX072-367-7953

E-Mail eco@city.osakasayama.osaka.jp